

//

○

○

M-0055

0243

供覽

丙

愛報譯文

(國定規格B5 23×35 毛紙)

大日本帝國政府

法  
本院條例中改正ニ關スル指令ヲ奉ク到達セ

リ御配慮ヲ謝ス

以津總督府 法務部 長

多田理白 長 殿

管理部長



整理課長

事務官



大日本帝國政府

供覽

丙

要報譯文

(國定規格B5 21×25.7 柱)

本院條例中改正ニ關スル指合ヲ奉ル到達セ

リ御配慮ヲ謝ス

法務部 長官

外務省 長官

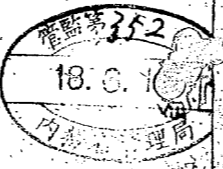
事務官

一

ニニ 四八  
タイホク 九七六 コ四、四〇  
カンリキヨクテウ

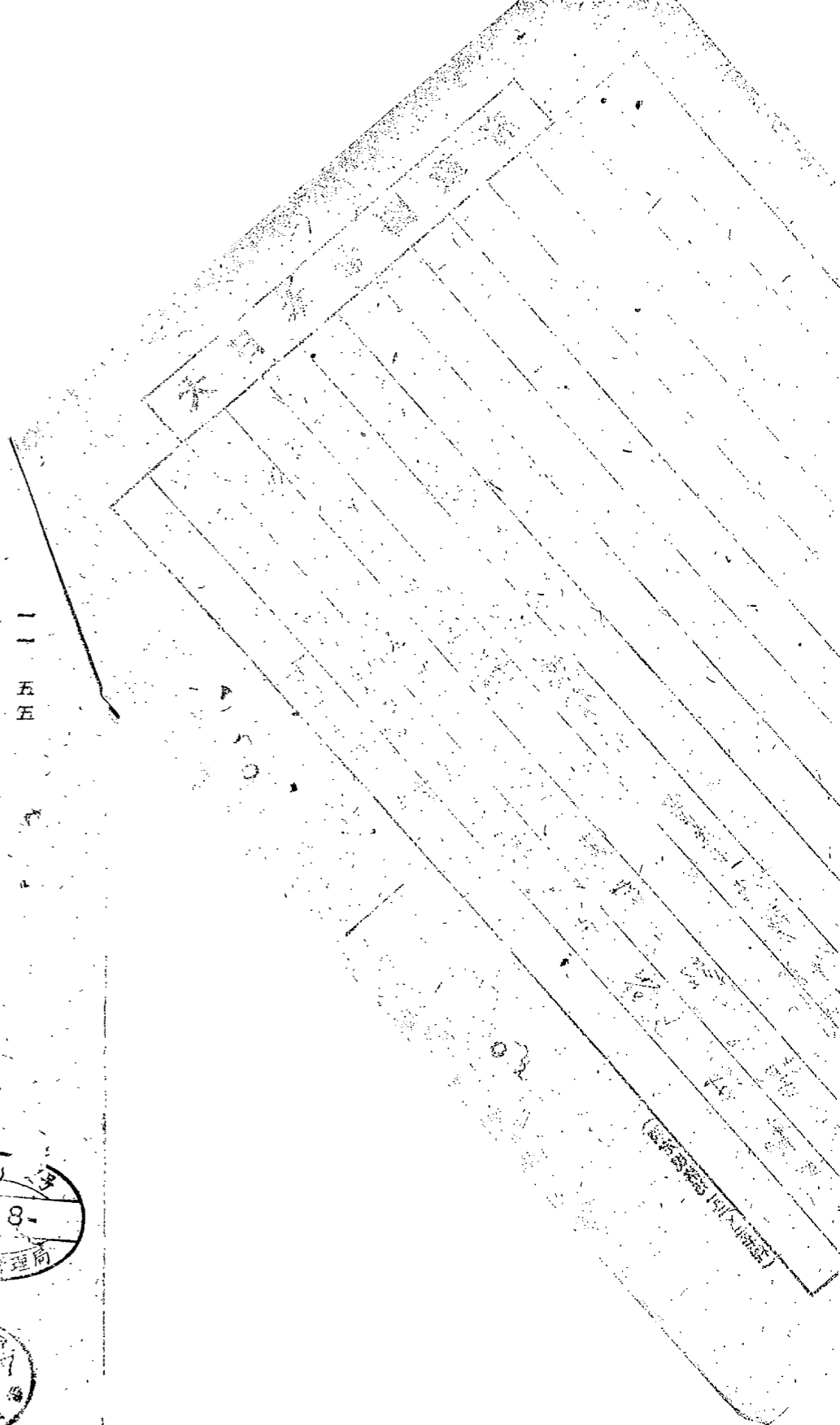
ホウインド ヨウレイチユウカイセイニカンスルシレイホンヒトウ  
タツセリゴ ハイリヨヲシヤスレタハ

コ九、一八 サ









一 一 五五  
タイホク 五六一 三三、二五  
カンリキヨクテフ

サキニリンギセル 一ホリ五チヨクサイマヘタルヤカレヘチ  
三ツサイマヘタルハカソノ匹ヒワゴ 七カモ六タハ

コセ、ニセ サ

管理第3  
18.6.8.  
内務省管理局

内務省  
18.6.8.  
空停



大日本帝國政府

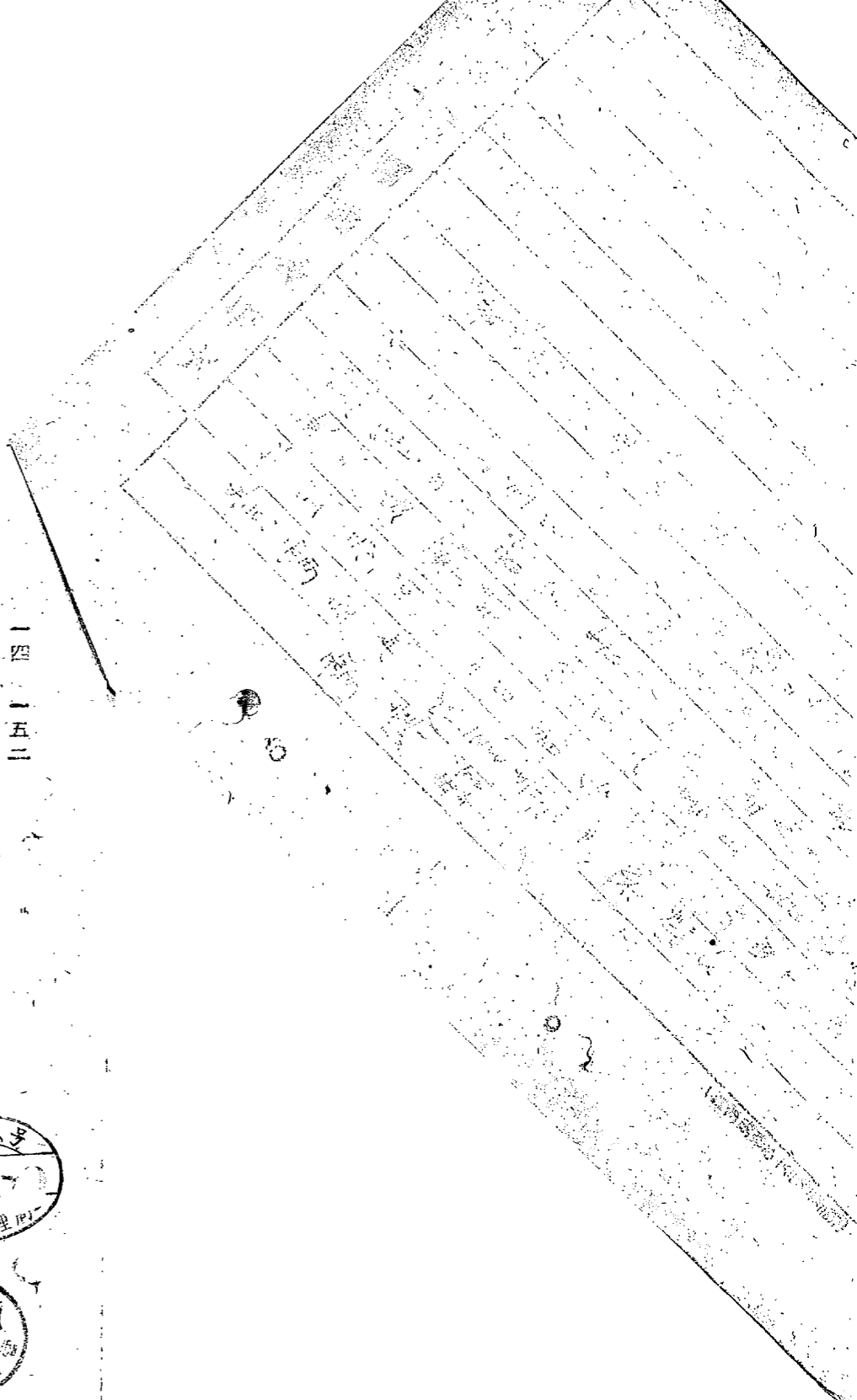
電報譯文

(規定規格35×55字種)

貴電拜承 御厚意ヲ深謝ス  
 法廷系例ハ 二日 指令アリタル由ナルモ 公報  
 無キ為事務 却令上 本日 官報局長  
 照會セリ 指令書ハ 如何相成リタルヤ 航空  
 便ニテ 発送方 御配慮アリ 法廷定員令ハ 五日公布  
 官報局長 矢野 殿  
 台湾總督府 嚴相 殿

ヤ

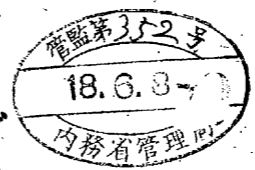




一四一五二  
タイ本 六四三 二三、二五  
カキヨクヤノゾク

キデ ンハイセウゴ コウイヲシンヤスホウインゼ ウレイハニ  
ヒシレイアリタルヨシナルモコウホウナキタメジ ムノツゴ ウシ  
ヨウホンヒカニリキヨクテフアデセウカイセリシレイシヨハイカガ  
ナリオルヤコウクウヒ ンニテハツソウカタゴ ハイリヨネガ  
ウレホウインテイインレイハ五ヒコウフアリタリヤレサイセウゾク

コ七、五〇。サ



丙

内閣内甲第三五一號

昭和十八年六月二日

内閣總理大臣 東條英機

臺灣總督 長谷川清 殿

指 令

昭和十八年三月二十日

臺灣總督府法院條例中改正ノ件上奏ノ通勅裁ヲ經タリ

管理局長

監理課長

事務官

本書發送相成可然哉

六月三日

以五八六二  
管送亦五五二

内務省

編格 215



臺灣縣督 吳 谷 川 齋 暹  
 內閣縣廳大司 東 菊 英 懋  
 昭和十八年六月二日  
 內閣丙甲類三五一號

送 受 及 號 局 議 合								日 月 付 受 及 號 省	
第	第	第	第	第	第	第	第		
號	號	號	號	號	號	號	號		
送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受		
月	月	月	月	月	月	月	月		
日	日	日	日	日	日	日	日		
								起 昭和十八年三月三十日 局 付 局 日 局 送 月 日 施行 四月二十六日	
								大臣 次官 文書課長 人事課長 事務官 局長 主査 監理課長 民政課長	
								臺灣總督府法院條例中改正一件 別紙律令案臺灣總督府法院條例中改正一件進達又	

規格 R 5

M-0055



島

明治三十一年律令第十六號台湾總督府法院條  
例中改正ノ必要ヲ認め大正十年法律第三號ニ  
依リ之ニ

勅裁ヲ仰ク

右謹ミテ奏ス

昭和十八年三月二十日

台湾總督 長谷川 清

大日本帝國政府

(折上り 國定規格 四二八ニ×三七種)



訂正の個所は  
右の通り

昭和一八、七、一三官報  
附載

13, 11, 26  
14, 12, 22

律令第十九號

(法制局審議所決定案)

臺灣總督府法院條例中左ノ通改正ス

第十二條ノ二第二項中「地方法院」ノ下ニ「及地方法院檢察局」

ヲ加フ

第十三條第二項ヲ左ノ如ク改ム

書記ハ判任トス但シ各廳職員優遇令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ兼任

ト爲スコトヲ得

書記ハ臺灣總督之ヲ補職ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府

(起案用紙乙)

(日本標準規格 B 4)



理由

地方法院檢察局ニモ書記長ヲ置キ得ルコトトスルト書記ヲ優遇ノ  
爲奏任ト爲シ得ルノ途ヲ拓クトノ爲改正ノ要アルニ依ル

臺灣總督府

(起案用紙乙)

(日本標準規格 D. 4)

説 明

地方法院檢察局ニ於ケル書記ノ職務ノ現状ニ鑑ミ地方法院檢察局  
ニモ書記長ヲ配置スルヲ適當トスルモノナルガ現行法院條例第十  
二條ノ二ノ規定ニ依レバ地方法院檢察局ニハ書記長ヲ配置シ得ザ  
ルヲ以テ本改正ヲ爲シ又法院條例ニ於テハ書記ハ判任トスト明定  
セル處今般公布セラレタル各廳職員優遇令ノ趣旨ニ鑑ミ法院書記  
ヲモ優遇ノ爲奏任ト爲シ得ルノ途ヲ拓クヲ適當トスルヲ以テ本條  
例中ニ其ノ旨規定スル要アリ依テ本改正ヲ併セ爲サントスル次第  
ナリ

臺灣總督府

(起 案 用 紙 乙)

日本標準規格 B 4





律令第 號

明治三十一年律令第十六號臺灣總督府法院條例中左ノ通改正ス  
第十二條ノニヲ左ノ如ク改ム

高等法院及高等法院檢察局ニ書記長ヲ置ク

地方法院及地方法院檢察局ニ書記長ヲ置クコトヲ得

書記長ハ委任トス臺灣總督之ヲ補職ス

書記長ハ上官ノ命ヲ承ケ書記ノ事務ヲ指揮監督ス

第十三條ヲ左ノ如ク改ム

各法院及檢察局ニ書記ヲ置ク

書記ハ判任トス但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ委任ト爲スコトヲ得

書記ハ職ハ臺灣總督之ヲ補<sub>職</sub>ス

書記ハ民事刑事ノ審判ニ關スル準備ヲ爲シ法廷ニ立會調書ヲ作り及一切  
ノ訴訟記録ヲ整理保管ス

書記ハ前項ノ外上官ノ指揮ヲ承ケ法院又ハ檢察局ニ於ケル諸般ノ事務ニ  
従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理 由

書記三人ヲ書記長ニ振替増員シ地方法院ノミナラズ地方法院檢察局ニモ書記長ヲ置キ得ルコトトスルト共ニ書記長ノ補職規定ヲ設クルノ要アルト各  
職職員優遇令ニ依リ書記ヲ兼任ト爲シ得ルノ途ヲ拓クノ要アルトニ依ル

説明書

法院書記ノ職責ノ中極ハ法廷又ハ檢察官ニ立會調書ヲ作成スルニ在リテ其ノ調書ノ良否ハ直チニ裁判檢察ニ影響スル所至大ナルヲ以テ之ガ責務モ亦重且大ナルモノアリト謂フベク故ニ法院書記ハ常ニ絶ヘザル努力ニ依リ法規ノ研鑽ヲ怠ラズ事務ニ精通セザルベカラズ殊ニ監督書記ハ法院長檢察官長ヲ輔佐シ專ラ司法行政事務ニ携リ一方上官ノ命ヲ受ケ其ノ廳ニ於ケル書記事務全般ヲ指揮監督スルノ地位ニ在リ從テ書記事務全般ニ通曉シ人格識見特ニ兼備セル有能練達ノ士タルベキハ言フ俟タザル所ナリ

然ルニ司法部判任官タル法院書記ハ他ノ行政官廳ニ於ケル判任官ニ比シ奏任官ニ榮進スルノ途狭少ニシテ全般公布セラレタル各廳職員優遇令ニ依リ奏任ト爲リ得ルノ途新ニ拓カレタリト雖モ尚從前ヨリ他廳ノ判任官ニ比シ

甚ダ不遇ノ状態ニ在リタルヲ以テ優遇令ノ一般的優遇ノミヲ以テハ尚他廳職員ト衡平ヲ失スルモノ歎シトセズ爲ニ前途ニ希望ヲ持テ得テ從テ清新激烈ノ氣風ハ漸次失ハレ練達有能ノ者ハ永ク其ノ職ニ止マルヲ恣セザルノ風アリノミナラス新ニ英才俊秀ヲ迎ヘントスルモ亦容易ノ業ニアラズシテ書記ノ採用並ニ轉出防止ヲ付テハ爾來多大ノ困難ヲ感ジ來レルノ實情ナリ依テ内地ニ在リテハ夙ニ鑑ミルトコロアリテ書記ノ進路ニ着眼シ書記長ヲ漸増シ來レルガ昭和十六年度ニハ遍ク全國ノ五十二地方裁判所及五十一地方裁判所檢察局ニ書記長ヲ配シ(大審院 同檢察局、控訴院 同檢察局ニハ古クヨリ書記長ヲ置ク)朝鮮亦之レニ意ヲ用ヒ其地方法院、同檢察局ニ夫々書記長ヲ配セリ(高等法院、同檢察局、覆審法院、同檢察局ニハ前ヨリ書記長ヲ置ク)而シテ本島ニ在リテハ昭和十六年度ニ於テ高等法院檢察

局及臺北地方法院ニ書記長ヲ配シタルヲ以テ既存ノ高等法院書記長ヲ合セ  
三人トナルニ至リ僅ニ内地朝鮮ニ追隨シタリト雖尚大ナル選庭アリ  
殊ニ戰時下多數新法令發布セラルル結果書記ノ事務モ逐日増加ノ一途ヲ辿  
ルト共ニ其ノ職責亦愈々重キヲ加フルニ至レル爲違識有爲ノ者ハ之ヲ慰留  
シテ其ノ才腕ヲ振ハシメ一面廣ク人材ヲ求メテ書記課ノ陣容ヲ益々強化ス  
ルノ要緊切ナルヲ以テ高等官タル書記長ノ員數ヲ三人ヨリ六人ニ増加シ書  
記ヲシテ前述ニ光明ヲ持タシメ職員ノ轉出防止並ニ新採用ヲ容易ナラシム  
ルノ方策ヲ講ズルハ刻下ノ急務ナリトス

依テ書記三人ヲ書記長ニ振替増員シ臺北地方法院檢察局及臺南地方法院、  
同檢察局ニ書記長ヲ配置シテ司法部内職員ニ活カヲ與フルト共ニ從來判任  
官タル監督者ノ地位ヲ向上セシメ司法事務ノ改善進歩並ニ部下職員ノ指揮

監督ニ遺憾ナキヲ期セントス

叙上ノ如ク昭和十八年度ニ於テ増員セラルベキ書記長三人中二人ハ之ヲ地  
方法院檢察局ニ配置セントスルモノナルガ現行法院條例第十二條ノニノ規  
定ニ依レハ地方法院檢察局ニハ書記長ヲ配置シ得ザルヲ以テ本改正ヲ爲シ  
併セテ書記長ノ補職規定ヲ新ニ設ケントスルモノニシテ又法院條例ニ於テ  
ハ書記ハ判任トスト明定スルヲ以テ今般公布セラレタル各廳職員優遇令ニ  
依リ書記ヲ奏任ト爲シ得ルノ途ヲ拓ク爲ニハ本條例中ニ其ノ旨規定スル要  
アルヲ以テ本改正ヲ併セ爲サントスル次第ナリ

(参照)

臺灣總督府法院條例抄

(明治三十一年律令第十六號)

第十二條ノニ 高等法院及高等法院檢察局ニ書記長ヲ置ク

地方法院ニ書記長ヲ置クコトヲ得

書記長ハ奏任トス上官ノ命ヲ承ケ書記ノ事務ヲ指揮監督ス

第十三條 各法院及檢察局ニ書記ヲ置ク

書記ハ判任トス臺灣總督之ヲ補職ス

書記ハ民事刑事ノ審判ニ關スル準備ヲ為シ法廷ニ立會調書ヲ作リ及一切ノ訴訟記録ヲ整理保管ス

書記ハ前項ノ外上官ノ指揮ヲ承ケ法院又ハ檢察局ニ於ケル諸般ノ事務ニ従事ス

昭和十八年三月二十六日  
臺灣總督府  
庶務課  
庶務課

18.3.26  
內務省管轄

第 90 號

總法第五號ノ二

明治三十一年律令第十六號臺灣總督  
府法院條例中改正ノ必要有之別紙律  
令案大正十年法律第三號ニ依リ勅裁  
ヲ仰キ度此段及稟議候也

昭和十八年三月二十日

臺灣總督長谷川清

內務大臣湯澤三千男殿

臺灣總督府

上  
奏  
書  
用  
紙

(日本標準規格 B 4)